

2017年10～12月期GDP統計予測

(1) 2017年10～12月期の実質GDPは、前期比年率+1.0%（前期比+0.3%）と、8四半期連続のプラス成長となった見込み（図表1）。輸入の増加を背景に前期に比べ成長ペースは鈍化したものの、内需の増加が成長率を押し上げたことで、プラス成長が持続。

①個人消費（前期比年率+2.8%、前期比+0.7%）

前期から持ち直し、プラスに転化。一部自動車メーカーの不正検査問題による出荷停止はマイナスに作用したものの、株価の上昇に伴う高額品消費の増加やエアコンなど白物家電の買い替えサイクルが下支えに寄与。

②設備投資（前期比年率+4.5%、前期比+1.1%）

回復が持続し、5四半期連続の増加。人手不足を背景とした省力化・合理化投資による機械投資やソフトウェア投資が増加。世界的なIT需要の拡大を受けた輸出の増加により半導体関連での能力増強に向けた動きも投資の押し上げに寄与。

③住宅投資（前期比年率▲9.5%ポイント、前期比▲2.5%ポイント）

2四半期連続で減少。相続税対策で増勢が続いていた貸家の建設がピークを越え、マイナスに。

④公共投資（前期比年率+1.3%、前期比+0.3%）

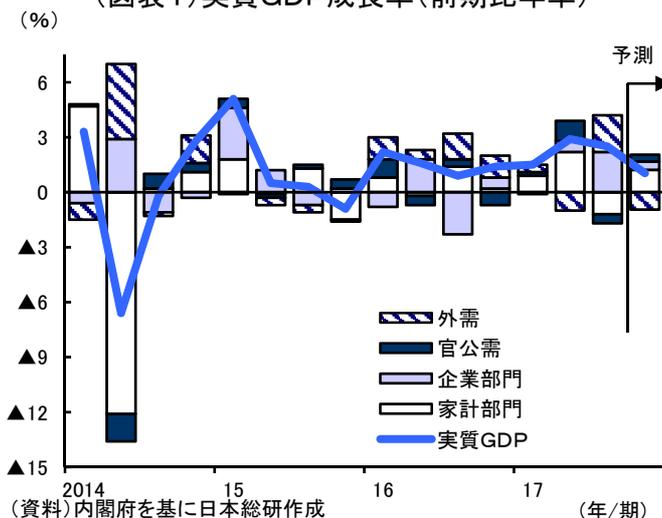
2016年度第2次補正予算の執行の効果は剥落したものの、東京五輪開催に向けた施設関連工事の本格化を受け、小幅ながらプラスに転化。

⑤外需（前期比年率寄与度▲0.9%ポイント、前期比寄与度▲0.2%ポイント）

輸出は前期比年率+8.3%と、2四半期連続で増加。中国向けの資本財や輸送機械が増加したほか、アジア向けの電子部品も堅調に推移。輸入も同+14.7%と、プラスに転化。新型スマートフォンの発売を受け、通信機の輸入が大幅に増加。輸入の伸びが輸出を上回ったことから、外需のGDP寄与はマイナスに。

(2) 2018年1～3月期を展望すると、食料品やエネルギー価格の上昇による消費者マインドの悪化などが下押し要因となるものの、高水準の企業業績を背景に、工場新設や機械投資などが下支えすることで（図表2）、緩やかな回復基調が持続する見込み。

（図表1）実質GDP成長率（前期比年率）



（資料）内閣府を基に日本総研作成

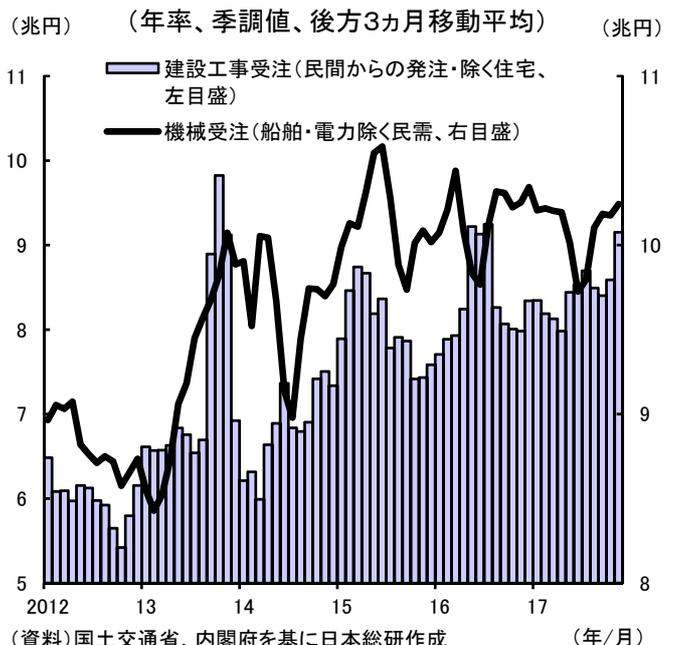
（注1）家計部門＝民間最終消費支出＋民間住宅。

（注2）企業部門＝民間企業設備＋民間在庫変動。

（注3）官公需＝政府最終消費支出＋公的固定資本形成＋公的在庫変動。

（注4）外需＝輸出－輸入。

（図表2）機械受注と建設工事受注



（資料）国土交通省、内閣府を基に日本総研作成

【ご照会先】 調査部 研究員 根本 寛之 (nemoto.hiroyuki@jri.co.jp, 03-6833-8913)

本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。

GDP統計予測表(2018年1月31日時点の公表系列をもとに作成)

(株)日本総合研究所 調査部

■ 前期比 (%, 十億円)

	実質GDP													名目GDP	デフレーター	
	内需							官公需			外需					
	個人消費	住宅投資	設備投資	民間在庫	政府消費	公共投資	公的在庫	輸出	輸入							
2016/ 7 ~ 9										0.2	▲ 0.1	▲ 0.3	0.4	3.0	▲ 0.2	▲ 2886.7
10 ~ 12	0.3	0.0	0.3	0.1	0.2	1.5	▲ 443.9	▲ 0.7	▲ 0.3	▲ 2.4	▲ 28.2	1416.1	3.0	1.3	0.5	0.1
2017/ 1 ~ 3	0.4	0.3	0.3	0.4	0.9	0.2	▲ 350.3	0.2	0.2	0.3	45.5	461.9	1.9	1.3	0.1	▲ 0.3
4 ~ 6	0.7	1.0	0.9	0.9	1.3	1.2	▲ 232.2	1.1	0.2	4.6	57.1	▲ 1427.2	▲ 0.1	1.5	0.8	0.1
7 ~ 9	0.6	0.2	0.4	▲ 0.5	▲ 1.0	1.1	2187.3	▲ 0.5	0.0	▲ 2.4	▲ 25.9	2733.7	1.5	▲ 1.6	0.8	0.2
10 ~ 12	0.3	0.5	0.6	0.7	▲ 2.5	1.1	▲ 343.3	0.4	0.3	0.3	46.1	▲ 1343.0	2.0	3.5	0.2	▲ 0.0

■ 前期比年率 (%, 十億円)

2016/ 7 ~ 9	0.9	▲ 0.6	▲ 1.3	1.8	12.5	▲ 0.8	—	1.6	2.0	1.2	—	—	8.7	0.6	▲ 0.4	▲ 1.3
10 ~ 12	1.4	0.2	1.1	0.4	1.0	6.2	—	▲ 2.7	▲ 1.0	▲ 9.1	—	—	12.6	5.2	1.9	0.5
2017/ 1 ~ 3	1.5	1.1	1.1	1.5	3.7	0.7	—	1.0	0.7	1.4	—	—	7.8	5.4	0.3	▲ 1.2
4 ~ 6	2.9	4.0	3.8	3.7	5.2	4.9	—	4.5	0.8	19.8	—	—	▲ 0.5	5.9	3.2	0.3
7 ~ 9	2.5	0.6	1.5	▲ 1.9	▲ 4.0	4.3	—	▲ 1.9	0.2	▲ 9.2	—	—	6.0	▲ 6.2	3.2	0.6
10 ~ 12	1.0	2.1	2.3	2.8	▲ 9.5	4.5	—	1.5	1.4	1.3	—	—	8.3	14.7	1.0	▲ 0.1

■ 前年同期比 (%, 十億円)

2016/ 7 ~ 9	0.9	0.1	▲ 0.3	▲ 0.1	6.3	▲ 0.2	▲ 399.7	1.4	1.3	2.2	▲ 8.9	938.2	1.0	▲ 3.2	0.8	▲ 0.1
10 ~ 12	1.5	0.4	0.5	0.6	6.8	1.7	▲ 519.0	0.1	0.2	▲ 0.0	▲ 30.3	1366.6	4.8	▲ 1.6	1.4	▲ 0.1
2017/ 1 ~ 3	1.5	0.5	0.9	0.8	6.5	1.8	▲ 425.0	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 0.1	▲ 29.2	1081.6	6.7	1.4	0.6	▲ 0.9
4 ~ 6	1.6	1.1	1.1	1.9	5.7	2.9	▲ 1015.8	1.1	0.6	3.6	6.5	457.8	6.8	4.3	1.1	▲ 0.4
7 ~ 9	2.1	1.4	1.8	0.9	1.6	3.8	301.4	0.2	0.2	0.3	12.6	816.4	6.4	2.4	2.2	0.1
10 ~ 12	2.0	1.9	2.1	1.5	▲ 1.4	3.7	321.6	1.2	0.8	2.6	30.1	142.4	5.5	4.7	1.9	0.1

■ 前期比・寄与度 (%, %ポイント)

2016/ 7 ~ 9	0.2	▲ 0.1	▲ 0.2	0.2	0.1	0.0	▲ 0.5	0.1	0.1	0.0	0.0	0.3	0.4	0.0	—	—
10 ~ 12	0.3	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	▲ 0.1	▲ 0.2	0.0	▲ 0.1	0.0	0.3	0.5	▲ 0.2	—	—
2017/ 1 ~ 3	0.4	0.3	0.2	0.2	0.0	0.0	▲ 0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	▲ 0.2	—	—
4 ~ 6	0.7	1.0	0.7	0.5	0.0	0.2	0.0	0.3	0.0	0.2	0.0	▲ 0.2	0.0	▲ 0.2	—	—
7 ~ 9	0.6	0.1	0.3	▲ 0.3	0.0	0.2	0.4	▲ 0.1	0.0	▲ 0.1	0.0	0.5	0.2	0.2	—	—
10 ~ 12	0.3	0.5	0.4	0.4	▲ 0.1	0.2	▲ 0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	▲ 0.2	0.4	▲ 0.6	—	—

■ 前期比年率・寄与度 (%, %ポイント)

2016/ 7 ~ 9	0.9	▲ 0.5	▲ 0.9	1.0	0.4	▲ 0.1	▲ 2.2	0.4	0.4	0.1	0.0	1.4	1.5	▲ 0.1	—	—
10 ~ 12	1.4	0.2	0.9	0.2	0.0	0.9	▲ 0.3	▲ 0.7	▲ 0.2	▲ 0.5	0.0	1.2	2.1	▲ 0.9	—	—
2017/ 1 ~ 3	1.5	1.1	0.8	0.8	0.1	0.1	▲ 0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.4	1.3	▲ 0.8	—	—
4 ~ 6	2.9	3.9	2.8	2.0	0.2	0.8	▲ 0.2	1.1	0.2	0.9	0.0	▲ 1.0	▲ 0.1	▲ 0.9	—	—
7 ~ 9	2.5	0.5	1.0	▲ 1.1	▲ 0.1	0.7	1.5	▲ 0.5	0.0	▲ 0.5	0.0	2.0	1.0	1.0	—	—
10 ~ 12	1.0	2.0	1.7	1.5	▲ 0.3	0.7	▲ 0.3	0.4	0.3	0.1	0.0	▲ 0.9	1.5	▲ 2.4	—	—

■ 前年同期比・寄与度 (%, %ポイント)

2016/ 7 ~ 9	0.9	0.2	▲ 0.2	▲ 0.1	0.2	0.0	▲ 0.3	0.4	0.3	0.1	0.0	0.8	0.2	0.6	—	—
10 ~ 12	1.5	0.4	0.4	0.3	0.2	0.3	▲ 0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.8	0.3	—	—
2017/ 1 ~ 3	1.5	0.6	0.7	0.5	0.2	0.3	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.1	0.0	0.0	0.9	1.1	▲ 0.2	—	—
4 ~ 6	1.6	1.1	0.8	1.0	0.2	0.4	▲ 0.7	0.3	0.1	0.2	0.0	0.4	1.1	▲ 0.7	—	—
7 ~ 9	2.1	1.4	1.4	0.5	0.1	0.6	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.7	1.0	▲ 0.4	—	—
10 ~ 12	2.0	1.9	1.6	0.8	▲ 0.0	0.5	0.2	0.3	0.2	0.1	0.0	0.1	0.9	▲ 0.7	—	—

(注1) 民間在庫、公的在庫、外需の前期比、前年同期比はそれぞれ前期差、前年同期差。

(注2) 実績値は、基礎統計の追加、季節調整のかけ直しなどの要因により、内閣府公表の数値とは異なっている可能性もある。